



エネルギーと環境の共生をめざして



SUSTAINABILITY REPORT

2014

J-POWERグループ サステナビリティレポート

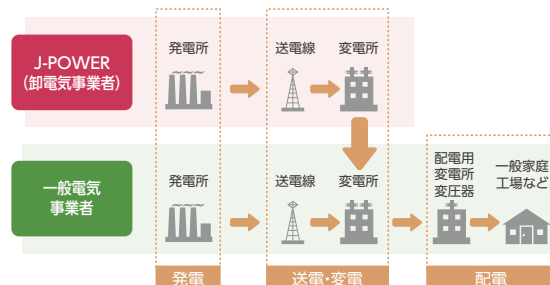


エネルギーと環境の共生をめざして

J-POWERグループ概要(2014年3月末現在)

会社名	電源開発株式会社
コミュニケーションネーム	J-POWER
設立年月日	1952年(昭和27年)9月16日
本店所在地	東京都中央区銀座六丁目15番1号
取締役社長	北村 雅良
資本金	152,449百万円
従業員数	J-POWER: 2,352名 J-POWERグループ: 7,262名
事業内容	電気事業

J-POWERと一般電気事業者との違い



設備概要

卸電気事業

●発電設備(出力)

水力発電所	58カ所	856万kW
火力発電所(地熱1カ所含む)	8カ所	839万kW
計	66カ所	1,695万kW

●送電設備(巨長)

交流送電線	2,408km
直流送電線	2,141km
変電設備(出力)	267km
周波数変換所(出力)	4カ所 430万kVA
交流変換設備(出力)	1カ所 30万kW
直流変換設備(出力)	4カ所 200万kW

その他の電気事業(持分法適用会社を含みますが、出資持分割合は考慮していません)

●発電設備(出力)

風力発電所	19カ所	38万kW
IPP	3カ所	52万kW
自由化市場向け発電事業	3カ所	32万kW
計	25カ所	122万kW



主要グループ会社一覧(カッコ内の数値(%)は、J-POWER出資比率)

環境関連データ集計範囲 J-POWERおよび国内連結子会社25社
国内外CO₂排出量集計範囲 J-POWERおよび国内電気事業12社と海外30社



電力周辺関連事業

- ・(株)ジェイベック [100%]
- ・(株)JPハイテック [100%]
- ・(株)JPビジネスサービス [100%]
- ・(株)JPリソーシズ [100%]
- ・ジェイパワー・エンテック(株) [100%]
- ・開発電子技術(株) [100%]
- ・(株)ジェイウインドサービス [100%]
- ・(株)開発設計コンサルタント [100%]
- ・(株)JPエンタープライズ [100%]
- ・宮崎ウッドベレット(株) [98%]
- ・JM活性コークス(株) [90%]



電気事業

- ・(株)バイサイドエナジー [100%]
- ・美浜シーサイドパワー(株) [100%]
- ・(株)グリーンパワー阿蘇 [100%]
- ・(株)ジェイウインド [100%]
- ・さらきとまない風力(株) [100%]
- ・南九州ウインド・パワー(株) [99%]
- ・糸魚川発電(株) [80%]
- ・長崎鹿町風力発電(株) [70%]
- ・仁賀保高原風力発電(株) [67%]
- ・市原パワー(株) [60%]
- ・土佐発電(株) [45%]
- ・(株)ジェネックス [40%]



その他

- ・開発肥料(株) [100%]
- ・日本ネットワーク・エンジニアリング(株) [100%]
- ・大牟田プラントサービス(株) [100%]
- ・(株)エコジェノミクス [100%]



海外事業

- ・Gulf Cogeneration Co., Ltd.
- ・Nong Khae Cogeneration Co., Ltd.
- ・Samutprakarn Cogeneration Co., Ltd.
- ・EGCO Cogeneration Co., Ltd.
- ・山西天石電力有限公司
- ・華潤電力(賓州)有限公司
- ・嘉恵電力股份有限公司
- ・Tenaska Frontier Partners, Ltd.
- ・Elwood Energy, LLC
- ・Gulf Power Generation Co., Ltd.
- ・Green Country Energy, LLC
- ・Birchwood Power Partners, L.P.
- ・Pinelawn Power, LLC
- ・Equus Power I, LP
- ・Tenaska Virginia Partners, L.P.
- ・Edgewood Energy, LLC
- ・Shoreham Energy, LLC
- ・Orange Grove Energy, L.P.
- ・Gulf JP KP1 Co., Ltd.
- ・Gulf JP KP2 Co., Ltd.
- ・Gulf JP TLC Co., Ltd.
- ・Gulf JP NNK Co., Ltd.
- ・Gulf JP NLL Co., Ltd.
- ・Gulf JP CRN Co., Ltd.
- ・Gulf JP NK2 Co., Ltd.
- ・ROI-ET Green Co., Ltd
- ・CBK Power Co., Ltd
- ・Gulf Yala Green Co., Ltd.
- ・陝西漢江投資開発有限公司
- ・Zajaczkowo Windfarm Sp. z o.o.

Contents

- 1 J-POWERグループ概要／目次・編集方針
- 3 トップメッセージ
- 5 J-POWERグループの社会的責任について
- 6 J-POWERグループ
経営の方向性と当面の取組み方針
- 7 **[特集]「石炭火力発電の未来を拓く」**



- 7 世界最高水準のクリーンコール技術を目指して
- 8 竹原火力発電所リブレース計画
- 9 低炭素化の推進
- 10 世界で求められる石炭火力発電とクリーンコール技術
- 11 次世代低炭素化の技術開発
- 12 大崎クールジェンプロジェクト

- 13 **[報告]大間原子力発電所について**
- 17 **電力安定供給と環境保全に向けた取り組み**

- 17 国内電気事業の概況
- 19 火力発電
- 21 水力発電
- 23 再生可能エネルギー
- 25 送変電・通信設備
- 26 海外事業
- 29 環境保全



- 33 **社会的責任に答える事業運営**

- 33 事業運営の基盤
- 39 地域・社会との共生
- 43 環境経営
- 51 **社外の評価・意見**



編集方針

- J-POWERグループは、日本と世界の持続可能な発展に貢献するという企業理念のもと企業活動を進めています。社会とともに企業の持続可能な発展・成長を目指す意を込めて、タイトルを「サステナビリティレポート」とし、「経営」、「社会」、「環境」の3要素を主内容として編集しました。
- 対象に連結子会社を含めることにより、本レポートをJ-POWERグループレポートとして位置付けています。
- 客観的な信頼性を確保するため、EY新日本サステナビリティ(株)による第三者保証を得ています。(P51に掲載)
- 2013年度版レポートについて、読者アンケートを通じてご意見をいただきました。(P52に概要を掲載)
- J-POWERグループに対する課題や期待について、社外有識者の方々よりご意見をいただきました。(P53に掲載)
- より多くの方へ適切に情報を伝えられるよう、視認性・可読性に優れたユニバーサルデザインフォントを採用しています。

【対象期間】

2013年4月～2014年3月
(会計年度が1～12月の会社については、2013年1月～2013年12月。また、一部、2014年4月以降の内容の記事も掲載)

【対象範囲】

J-POWERおよびJ-POWERグループ会社(企業会計上の連結子会社)
※上記以外の場合は、当該箇所にその旨を記載。

【参考にしたガイドライン】

環境省「環境報告ガイドライン2012年版」
GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン」^{*}
Ver3.0]

【報告書発行履歴】

1998年～

【発行月】

2014年7月

【将来の見通しに関する注意事項】

本誌に掲載されている計画、戦略、見込みなどは、現在入手可能な情報に基づくJ-POWERの判断により作成されています。したがって、今後生じる様々な要素の変化により異なる結果になる可能性があります。

※サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン：

持続可能な発展という観点から、環境面のみでなく社会面と経済面の報告も統合した報告(サステナビリティレポート)について、国連環境計画や各国の環境団体、機関投資家、会計士協会、企業などからなる国際的なNGOであるGRI(Global Reporting Initiative)が策定しているガイドライン。

本レポートは、J-POWERホームページ「J-POWERグループサステナビリティレポート2014」に掲載しています。

